

魂を霊層界のより上段へ

黎の明

発行所

京都市左京区
吉田神楽岡町3

世界救世教黎明教会

郵便番号606-8311
電話075(771)2022番

霊界の構成は巖に述べた如く、天国、中
有、地獄の三段階が三分されて九段階と
なっており、一段は又二十に分れ、一段階
二三が六十段となり、三六十八即ち総計
百八十段となる。私は名づけて霊層界とい
う。その上宇宙の主宰者たる主神が坐すの
である。主神の主の字は一二三本の横線を
縦の棒一本を通し、上に、が載っている事
は面白いと思う。そうして人間と霊の関係
を詳しく説明してみるが、人間の肉体その
ままの形体である精霊があり、その中心に
心があり、心の中心に魂があるという具合
に、大中小の三段否三重となっているが、
その魂こそ神から与えられたもので、こ
れが良心そのものである。此魂の故郷即ち
本籍地ともいべき根源が、右の百八十段
階の何れかに属しており、之を名付けて私
は幽魂という。此幽魂と人間の現魂とは霊
線によって繋がれており、絶えず人間の思
想行動は幽魂に伝達され、それが神に通じ
ており、又神よりの命令は幽魂を経、霊線
を通して人間に伝達するのである。此例
として人間が種々の企図計画をなし、目的
を達成せんと努力するも事志と違い、思わ

各面の内容

- | | |
|----|---------------|
| 2面 | 初代会長先生 御教えの研鑽 |
| 3面 | 第87回男子会勉強会 |
| 4面 | お蔭ご奉告 長澤光恭様 |
| 5面 | 夏期学生錬成会 |
| 6面 | 講義ノート 中川牧子様 |
| 7面 | 講義ノート 奥田直枝様 |
| 7面 | 講義ノート 東垣幸代様 |
| 8面 | れいめい佛壇 |

明主様の御教え

霊層界

ぬ方向に赴いたり、意外な運命に突当った
りする場合熟々顧る時、何等か自分に対し
見えざる支配者があって、自分を操ってい
るように想われる事を大抵の人は経験する
であろう。即ち此支配者なるものが右の幽

魂から伝達される神の意志である。故に神
意に反する場合何程努力すると雖も、努力
すればする程逆効果になるものであるか
ら、人間は常に自己の考えが神意に合致す
るや否やを深く省察しなければならぬ。
然し乍ら此場合私欲邪念があるとすれば、
それは神意の伝達を妨害する事になるか
ら、一時は良いように見えても、終には必
ず失敗するものである。此理によって何等
かの計画を立てる場合、よくよく自己を省
み、その目的が善であるか、社会人類に役
立つべきものなるや否やを深く検討しなけ
ればならない。茲で面白い事は、邪念の為
神意に添わず為に失敗苦境に陥る場合、そ
の苦難によって、邪念の原因である罪穢が
滅滅する事になるから、其為魂が磨かれる
結果となり、今度は神意と合致するように
なり、成功する事になる。世間よく一度失
敗し其後成功する例がよくある事や、特に
失敗の度数の多い程大成功者となる例があ
るが、右の理に由るのである。
以上の如くであるから霊層界のより上段
に霊魂の籍をおく事が幸運者たり得る唯一
の方法である。元来霊魂の位置は一定して
はいないもので常に昇降している。何故か
という軽い程上方に昇り、重い程下向す
るのであって、此軽重の原因は如何なる訳
かという、人間の行為の善悪に因るもの
で、善事を行い徳行を重ねれば罪穢が減少
するから軽くなり、悪事を行い罪を重ねれ
ば罪穢が増すから重くなるという訳で、昔

から罪の重荷とはよく言ったものである。
故に善悪の心言行そのまが霊線によって
神へ直通するのであるから、此理を知った
ならどうしても善徳者にならざるを得ない
のである。
前述の如く人間は神の命によって、運命
は疎か生死までも決定するのであるから、
人間の生命の命の字は命令の命の字であ
る。故に死とは神よりの命令解除である。
それは世の中に害毒を与えたり生存の価値
なき為であるから、人間は命令を解除され
ぬよう神に愛され社会有用なる人間になら
なければ、長寿と幸福は得られる筈がない
のである。

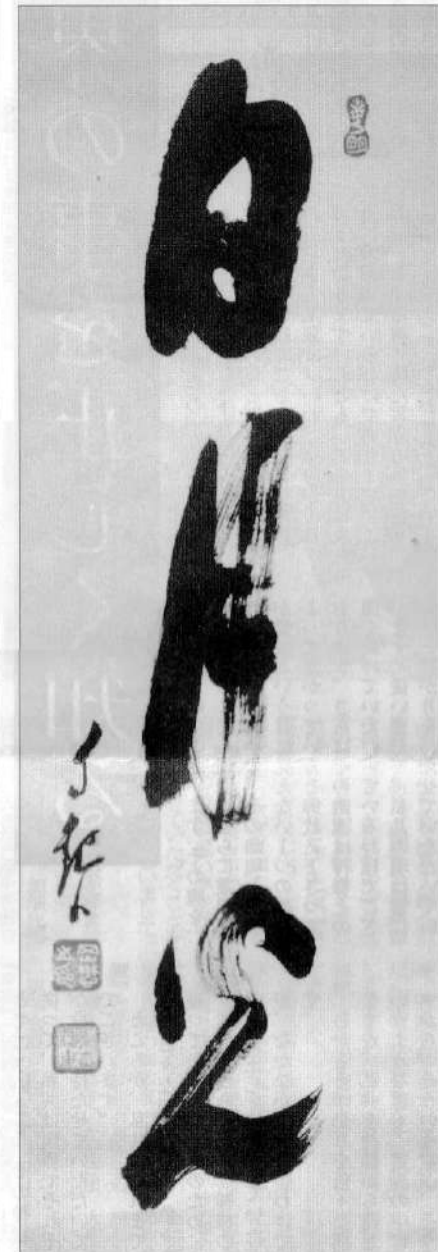
霊層界の上位へ行く程病貧争の如き苦は
なく、浚刺たる健康と、饒かであり善美で
ある衣食住を与えられ、歓喜の生活を営ま
れるから、そこに在る幽魂の幸福は、霊線
によって現界の人間に直通し幸福になるの
である。その反対に霊層界の下位にある幽
魂は、霊通によって其人間に反映し、常に
地獄的生活に喘ぎつつ一生不幸に畢るので
ある。

世間よく家相方位などに関心を持つ者が
あるが、霊層界の上位に在る者は、移転や
建築等をなす場合、自然良方位、良家相に
移住する事になり、反対に霊層界の下位に
ある者は如何に努力すると雖も、悪方位悪
家相に移住する事になるのである。又結婚
の場合、良縁も悪縁も右と同様の理による
のであって、之は霊体一致の原則による以
上、此絶対力は如何なる人間と雖も抗する
事は不可能である。

茲で宿命と運命に就て一言するが、宿命
とは生れ乍らに決定せるもので、それは霊
層界の上中下三段の何れかの一段の圏内に
限定され、それ以外に出ずる事は不可能で
あるが、運命は右の宿命圏内の最上位に行
くも最下位に行くも努力次第であるから、
宿命の不変であるに對し、運命は或程度の
自由を得られるのである。

随而人間は常に善徳を積み、罪穢を軽減
し霊層界のより上位に吾が幽魂を住せしむ
べきで、それによる以外幸福者たり得る道
は決してない事を知るべきである。

明主様御真筆 日月光



霊界の事を正しく知る

初代会長

多田 光行

『霊層界』という表題でお説き下さ
いました御教えは2つあるわけでご
いまして、1つは『天国の福音』とい
う御神書の中にお説き下されているわ
けでございますが、これから拝読させ
ていただきます『霊層界』の御教えは
『霊界叢談』という御神書の中でお説
き下されている御教えでございます。
どちらも大体同じ角度からお説き頂い
ているわけでございますが、霊界につ
いてお説き頂きました御教えの1つと
して拝読させていただきますと存じま
す。

明主様は、これから神様が創造され
ていく地上天国という世界では、私共
一人一人が霊界の事をもっと正しく分
からせていただくなければいけないと
仰っております。もちろん現界の事
も大切でございますけれども、この現
界の色々な問題を根本から解決するた
めには、その奥にある霊界の事を私共
が正しく知らなければいけないわけ
でございます。そして、さらに霊界・現
界をお造りになられました神様の実在
を信じ、またその神様の御心に叶うよ
うに努力させていただいて初めて、こ
の世の中は地上天国になっていくわけ
でありますし、私共一人一人が本当の
真の幸せ、永遠の幸せを掴まさせてい
だくことができるわけでございます。
もちろん霊界と申しますと、いわゆ
る私共の死後の世界ということも関係
してくるわけでございます。けれども、
明主様はそういうことよりも、現在肉
体を持って、この現界に生かしていただ
いている私共にとって、直接関係し
てくる霊界の事をまず説いて下さって
いるわけでございます。この後、明主

様はさらに段々、霊界の、いわゆるもつ
と深いことを説いて下さっておりま
す。私共自身も肉体と同時に霊、魂を
頂いているわけでございます。肉体
の方はある期限で、いわば寿命がくれ
ば土に還りますけれども、魂の方は永
遠に繋がっているわけでありまして、
この、いわゆる魂、また霊界の事を色々
説いて下さっているわけでございます。

私共は、肉体と同時に、いわゆる霊、
霊体を頂いているわけでございます。
ここでは明主様は『精霊』『人間の肉
体そのまゝの形体である精霊』と仰っ
ておりますが、この精霊という意味
と、『霊波と霊衣』という御教えの中
でいわゆる霊衣という衣を持つてい
ると仰っておりまして『霊体』とは、同
じ意味と考えさせていただいて良いの
ではないかと思っております。そのように私
共は、そういう肉体と同じ形の、いわ
ゆる精霊、あるいは霊体を頂いている
わけでありまして、
その霊体のさらに中心に心があつ
て、さらにその中心に魂を、私共は頂

いているわけでございます。その魂を、
明主様はここで『現魂』さらに霊界で
の『幽魂』と仰って、その幽魂と現魂
が霊魂という目に見えない1つの線に
よって繋がっている御教え下さって
おります。さらにその幽魂は神様との
間を繋げていただいているわけござ
います。従いまして、私共の魂は常に
神様と繋がりを持たせていただいで
いるわけでございます。

ですから私共が色々考えているこ
と、思っていること、やっていること
は、全てその霊魂を通じて、神様の方
に通じていくわけでございますし、逆
に神様の色々御心、ここでは『神意』
というふうにも明主様は仰っております
けれども、いわゆる神様の御心が私
共の魂に、それを通じて知らされてく
るわけでございます。
ここに私共人間の尊さがあるわけ
でございます。私共が、神様と繋げてい
ただいている魂を神様から頂いている
ということは、どんな人間でも一人一
人全霊、そういう神様の御心によつて、
それぞれの使命を頂いているというこ

とでございます。その神様の御心に
従って、私共は現界でそれぞれの色々
な役割を持たせていただいているわけ
でございます。

ところが、私共はこれまでに犯して
きた色々な罪の結果、色々な曇りを
持つております。そのために、魂の周
りに色々曇りがあり、神様の御心をそ
のまま正しく掴ませていただくこと
が、なかなかできないわけございま
す。

しかもその曇りを色々な邪霊と申し
ますが、私共を神様から遠ざけよう
というような霊も、霊界の中にはおりま
すから、そういう霊が、そういう曇り
を利用して私共を神様から遠ざけよう
としてしまうわけでございます。で
すから私共は常に少しでも曇りを浄
めていただくことが非常に大切であ
りますし、それから私共の気持ち
常に神様の方に向けさせていただく
ということが大事になってくるわけ
でございます。

また神様は、直接には、明主様を通
じて色々な御神意を私共に伝えて下さ
るわけでありまして、ですから、私共の
想念を常に明主様に向けさせていた
いていれば、私共の魂は、常に神様と
しっかりと結ばりを持たせていただ
いているわけでございます。そうすれば、
神様からの、色々な御心が常に正しく
伝わってきて、それを正しく掴ませて
いただくことができるわけございま
す。

人間が、種々な企図計画をする場合
に、神様の御心から反していますと、
自分の思っているようにはいかないわ
けです。その時に、自分が今これから
やるのが、本当に神様の御心に叶っ
ているのかどうか、その目的が善で
あるか、あるいは社会人類に役立つべ
きものかというところを、常に考
えていきなさいと御教え下さっている
わけでございます。

それで、私共の場合、私共がさせて
いただくことが、神様の御心に叶っ
ているかどうかということを常に判断の
基準にしていかなければいけないわけ
でございます。その場合に、私共はな

かなか神様の御心がどういふところ
にあるのかという判断が、実際に
は難しいわけでありまして、そこで、明
主様は御神書の中に、神様の御心はこ
うだ、神様はこういうふうな思ってお
られる、神様は人間にこういうふう
な思っていると思っておられるとい
うことを、色々な場合について説いて
下さっているわけでございます。

従いまして、私共がいつも明主様の
御教えを拝読させていただいておりま
す、神様の御心に自分の魂がいつも
接しさせていただいていることになる
わけでございます。そのように少し
も光によって浄めていただいでいけ
ば、私共は、凡ゆる問題にぶつか
った時に、こういう時にはどうしたら良
いのか、こういうふうに進むべきかとい
うことを、神様の御心に叶って、正し
く判断させていただける力を与えて
いただくことができるわけございま
す。

例えば、卑近な例でございますと、
病氣などの場合もそうでございます。
明主様がよく引用しておられる、一番
身近な病氣の風邪の場合などでもそう
でございます。風邪というのは、なる
ほど咳が出たり、熱が出たり、一時
ちよつと苦しいわけでございます。け
れども、これは本当は神様が、その人
の体の中に少しづつ色々汚いもの、毒
素が溜まって、それがあまり溜
まってしまったのでは、その人の健康
が保てないから、それで少しでも、そ
の体の中の汚いものをお掃除してあげ
ようということ、いわゆる浄化作用
として、そういう風邪の症状を与えて
下さっているわけでございます。

そういうことも、結局、神様の御心
を私共が正しく分からせていただい
れば、時に誤ったことをしたり、悩ん
だり、迷ったりしないですむわけござ
います。

それから、先程の御神意ということ
でございます。これは、農業の面にお
いてもそうでありまして、それから
色々な社会の教育の問題にいたしまし

霊体の中心に心

その心の中心に魂

私共の魂は
常に神様と
繋がっている

御光を頂き
神様の御心を
正しく掴む

明主様の御救いは 全人類への御救い

男子会勉強会

御教えと 御浄霊の お取次ぎを

多田光史先生ご講義

「講義される多田光史先生



「講義を聞く参加者」

2022(令和4)年6月26日(第87回男子会勉強会のお許しを頂きました。初参加5名を含む16名の方が参加のお許しを頂き、午前9時に「参拝役制のあること、土にも霊とより御浄霊を頂きました。」
「講義で多田光史先生は『序文』(天国の福音書)を拝読して下さい。」
「明主様の御教えは全人類への御救いであり、御教えと御浄霊を身近な方々から御取次ぎさせて頂いた方がいいと思います」とお話し下さいました。また、「浄霊お取次ぎにあたって『浄霊のお取次ぎに関する御教え』を拝読して下さい。」
「明主様のお姿を思い浮かべてお取次ぎ下さいなことが大切ですよ」とお話し下さいました。そして有難くも明主様の御浄霊の御救いを拝ませました。

護頂かれたことをお話し下さいました(黎明323号参照)。小林先生は「二つについて、御教えを拝読して下さい。土にも色んな役割があるが、作物を作る役制のあること、土にも霊と体があつてを教して下さいました。」
昼食は無農肥無農薬栽培のお米、お茶、じゃがいも、タマネギ、小松菜等の野菜をふんだんに使ったお弁当を大変おいしく頂きました。特別に資料研究の美術品を拝観させて頂いたいただきました。

体験発表では長崎光様様がご浄化への感謝の「奉告を(4、5面参照、飯田建雄が感謝のご奉告と決意発表をさせて頂いたため)が続いた。続いて黎明320号の御教え「大業と小業」と多田光行初代会長先生のご研鑽を拝読させて頂いたいただきました。

男子会委員の伊吹克也様は「幸福」の御教えと「三の御教え」に関する初代会長先生の御研鑽を拝読させて頂いたため、幸福になるには他人を幸福にする利他愛の心になること、そして愛を繋いで苦しみでいる人を御救いさせて頂いたことが重要で、私共はその方法と御力を頂いていることを御説き頂いていると話されました。



昼食後、資料研修館で展示された美術品を拝観する参加者

(K・I)

2面からの続き

でも、あるいは色々な社会の人間関係の問題にいたしましても、経済の問題にいたしましても、凡ゆる問題に対する私共の考え方は、今までどちらかといえば、霊界を無視した、さらにその奥の神様の御心を考えないで無視して色々積み重ねられてきているわけでございます。ですから、そういう考え方をここでもって反省させて頂いていただきまして、霊界の事をしっかりと掴まさせていただきます。さらにその奥にある神様の御心をしっかりと掴まさせていただきます。ところが、私共が大事になってくるわけでございます。それで初めて本当の地上天国、私共が幸せな世の中が築き上げられるということになるわけでございます。

「これは私共一人の人間であっても、非常に正しいこと、良いことを考え、良いことをしようとしている時には、
霊界を無視した考え方を反省
正しいことをして
曇りを浄めて向上し
霊衣を磨き厚くする

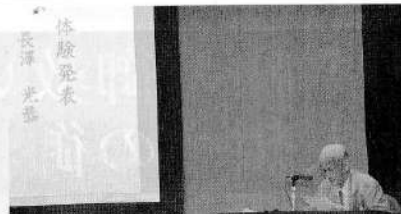
その人達の霊衣が厚くなってくる、また魂は段々向上させていたいただけるわけであります。逆に人を苦しめたり、人を不幸にするようなこと、そういう自分だけの事を考えて行動したりしている時には、自然に魂の位置が下がってくるわけであります。ですから自分だけの事を考えておられますと、一時的には良いように見えますけれども、結局私共の魂の霊層界での位置と申しますか、
それが幸福にならせて頂く根本

状態が、現界の私共の状況、状態に映し出されてくるわけでありますから、そういう状態のままでございまして、いくら一生懸命努力しても、いつまでも止まってしまうという状態になってしまいうわけでございます。ですから私共は、少しでも魂の曇りを浄めさせて頂いたということ以外に根本から幸せにならせていただくということはできないわけでございます。

(一九七九年一〇月一八日より)

お蔭ご奉告

長澤 光恭



体験発表
長澤 光恭

明主様、いつも数限りない御守護を賜りまして誠にありがとうございます。この度は男子勉強会にて体験発表のお許しを頂き感謝申し上げます。本日は返頂戴しました御守護の奉告をさせていただきます。

最初に私の出立時の両親から聞き及んでおりましたことや、その後頂戴しました御守護につきまして返ささせていただきます。母は私が生まれてから産後で、母乳もほとんど受けつけず、命が危ない時が幾度もありお医者様からも見放されおりました。ありがたき初代会長先代より母を養育し、聖明教会の基礎を築かれた多田雅子先生から御浄霊を頂き、何回も命を救っていただきました。ある時は教会からの帰り道で瀕死の状態になり、教会へ引き返し御浄霊を頂いて命を取り留めたこともありました。

多田雅子先生は、明主様への信仰の絶対的ものが溢れておられ、母はこれ雅子先生の崇高な信仰とこ

慈愛に触れさせていただき、手を捧げにお任せしておすがりしようと思ひ、私は奇蹟を賜ることができました。また多田雅子先生の伯母様で聖明教会の地主であられた栗田カヲ様からも御浄霊を頂きました。栗田様はいつも私の事を気にかけて下さり、私が卑くしていたいた姿を責め、目分自分の事のように喜んで下さいました。

中学3年生の時には背の辺りが急に痛みだし、週間くらい痛みは治まるが大きな塊りが腹部にできました。生死をさまよう程の大浄化でしたが、初代会長先生、現会長先生のご指導のもと青木先生の指導のもと青木先生の先生が毎日御浄霊に来て下さり、一家が神様におすがりさせていたいただきました。家の月例祭に引き続き祖霊様のお祀りをしていただいた後、その塊りが無くなるという奇蹟を賜りました。青木先生は明るく気さくな先生で大変お世話になりました。

その後今日まで数多くの御守護を賜ってまいりましたが、それらの事につきましては聖明教会20周年及び50周年記念集に載せていたたいております。

私は特定郵便局員として2年以上元気に勤めさせていただきました。尊敬する上司や同僚にも恵まれまして、業務や営業等あらゆる面で多大なる御守護を賜り、無事御歳で退職することができました。結婚につきましても御守護を頂きまして、図書館で御用をさせていただいていました。妻と結婚のお許しを頂き、結婚生活は11年と短かったのですが今も心の財産として残っております。

55歳頃より糖尿病の疑い

63歳頃より徐々に

体重が減り始め
この8年間で
20kg近く痩せる

3年前の外出

長時間歩いたあと
帰宅後に倒れ込む

体力の限界感じる

資料研修館で御用中

足がもたつき
歩けなくなつて
そのまま寝込む

毎日妹と2人の姪から
何度も御浄霊を頂く

このまま命が尽きるのかと不安が頭をよぎる

せしと
お努力を
に切り替
様を切る
神事
できる
すべて
今でき
気持ち

精一杯の感謝献金

座る事ができ
目に力が出て
顔色良くなる

りました。14日も身体が重た
る。部屋には資料館で足が
もたつていて、これぞという
止まったまま動けなくなり
ました。資料館で御用されて
います五條直美様から教会まで
付き添って下さいまして、御
浄霊を頂いて姪の車で帰って
まいりました。熱は無く身体
の痛みも特ありませんでした
が、そのまま寝込んでしま
いました。

翌日も身体を起している
のが辛くて喉が痛くずっと寝
ていました。3日目は何とか
ゆっくりと歩けたので付き
添ってもらい教会にご参拝さ
せていただきました。4日目
には下痢の浄化を頂き、足
がぐらぐらして痛くなった
まま御浄霊を頂きました。5
日目の2月18日の感謝祭には
しんどくてご参拝のお許しが
頂けませんでした。

ありがたいことに、この間
食事はあり食事の時は何とか
座って食べられました。量は
少なかりの3分の1くらい
です。おにぎり、お味噌汁
やお野菜、くだものや無糖
の人参ジュースなどを少しす
つですがおいしく頂くことが
できました。非常に水分を飲
まして無糖のお茶をいつも
飲んでおりました。2階の
部屋で休んでいましたので、
御浄霊を頂く時は御神前まで
手を引いてもらい杖も使って
ゆっくりと歩いて行けまし
た。少し歩くと息が上がり咳
込んでしまふ。休み、御浄
霊を頂くことに決まってい

ました。毎日妹と2人の姪が
入れ替わり来てくれまして、
何度も御浄霊のお取次をし
ていただき、買物や食事など
の世話をしてくれました。
また姉も心配して時々来てく
れました。

2月20日に家の月例祭のお
願いに教会にご参拝させてい
たきました。呼吸がかなり
苦しく、やつのことで服を着
替え、歩くのもつらいうた
状態。帰ってから少し寝込み
ました。この後はしばらくはご
参拝のお許しを頂けませんで
した。翌日は手伝ってもら
い家の月例祭を無事にお祭り
させていたことができた
ました。身体に力が入らず倦怠
感が続き一層寝込んでしま
いました。

2月23日は、自分で起き
上がる気力も無く手を引
ばしてもらい、やっと起き上
がりました。自分では気が
ついてお祈りをしていたよう
ですが、朦朧として弱気な
とはかり話していたよう
です。しかしこの時ハッと我
に返り、そんなことを考えず
すべてを神様に任せたい
と、心を静かに祈らせて今
までを振り返り、お祈りし
ていただきました。そして
私は何回も命をお救い頂い
たのに自分の事しか考えて
いなかったのではないかと天
使申し訳ない気持ちになり
ました。生まれてから今まで
いてまいりました多田御守
護の数々が胸に思い浮かんで
まいりました。その御守護の
一つでもなければ現在の私は
ありません。私は本当に幸
々な人生を送らせていただい
た。きんたなど思い、今までの
信仰を振り返り感謝が足りな

かったということに気がさせ
ていただきました。もしもこ
の御救いを知らせていた
てなかつたら、とうとうに命が
ないか一生不幸な人生を送
っていたことでしょう。

神様に今までのお祈りを申
し上げ、この浄化のさなか
まず今の自分にできること
として、精一杯の感謝献金
をさせていただきます。この
心が底から湧き起るという
気持ちで御浄霊を頂くこと
ができました。その後、神
様にお願い申し上げ、何
とか起き上がらなければ、で
きたら食べなければという
気持ちが急に強くなりました。
2月未明より少しづつ
起き上がれるようになり、初
めは食べられないと思っても
少し食べだすと食べられるよ
うになってきました。だんだ
ん食欲が出てきて食事の量も
増えお腹がすくようになり
ました。食べる身体に力が出
てくるのが分かりました。御
浄霊を頂くたびにスツツと
1人では歩けるようになって
きました。

3月になり、1日1日色ん
なものをおいしく食べられる
ようになり身体がしかりし
てきました。3月4日には、
以下に面を繋ぐ

(清水 梨有)

二女出産に御守護

神様に心から感謝し
御救いお伝えを決意

ご近所の方に
御浄霊お取次ぎの
機会が増える

入信のお許しを
毎月頂けるように



醍醐出張所
中川 牧子

講義ノ一ト

明主様、眼根のない御守護を賜り、誠にありがとうございます。またこの度は、本告のお許しを頂き誠にありがとうございます。神様の御目から見れば何もさせていただけではありませんが、私が体験させていたいたことを書かせていたなさいと思います。

まず私の入信動機ですが、二女の出産の際に妊娠中毒で、また、出さまひ産、子宮の時期であり、お祈りする機会もなくありました。そんな時、ご近所でお子様の通足に付き添われた方が、乗車していたバスの中でまた打ち症になったと聞きまし。病院に通っても痛みが治らないと仰るので御守霊を頂いてみませんかとお取次きをさせていたなさいました。

朝から晩まで御浄靈のお取次ぎをする日も多くなり、それにつれて教会の御神前へお参りするごとも増えました。毎日、目の回ろくらいに忙しくなり、毎月入信者のお許しを頂けるようになりました。

事柄の方の御浄靈の急所や、お尋さす際の相相談に對しては教会の會長先生（當時は多田先生）や小林美也子様に

会長先生（当時多田先生はAさんと未婚者のAさんのようにと想っておりました。）

と決意されました。やがてお母様も入信されるといふことになりました。その時からお母様の病状が良くなり始めました。

様 、教修の日

驚く
く
なれる

様は怪我と病気が良くなるまでという御守を贈らせて下さり、その結果お尋さずにお許し頂け、お世話にご布教に毎々が充実していたと思えます。私自身も盲箱や頭箱なども化もありましたが、いつもり懸えさせていたのは、信の方の前では元気でいられた。やはり御用にお使ひの

き、私自身も御教えの神
実践を続け、神様を信じて
むことのできるよう努力
たいと思っています。

日 小羊様本当にありがとう
さいます。

会長先生、小林先生入信
米本当にお世話になりあり
とさせていただきます。ご迷惑は
りおかけし申し訳ございま
ん。これからもご指導よろ

で出産を諦めなくてはならなかったころを、当時主人の岩村にわたられました小林先生によりお導きを頂きました。昭和51年（1976年）1月の事でした。

その後神様の御守護によりまして無事に出産させて頂いたのですができました。私は心の底から神様に感謝し、1人でも多くの方にこの神様のお救いを伝えようと心に決めました。

当時（近所には同世代のご家族がたくさん住んでおられ

「一週間はどの御浄書で下痢が出たのですか？長くなられました。その方は入信され、私はその経験が始まりとなり、他の、近所の方にお話するお許しが増えました。また御浄書させていただいた方がさらにご家族やお知り合いの方へ御浄書のお話をされるといふ具合で、どんどん御浄書のお取次ぎする機会が増えました。そして皆様のお子様やご家族に病氣や腰痛も、健康に不安がある方はかりであることが分かってきました。病弱

ご指導を頂きました。(小林先生は、当初初代会長先生のアメリカでの御用に着いておられたので、奥様の美也子様にご指導頂いておりました。)深夜でも早朝でもご指導下さり、当時私自身も無我夢中でやっていたところを正しくお導き下さり感謝いたしております。色々な体験を積み上げていただくことができました。

◆

その中で「粗霊様のお救い」について体験させていたたい

Aさんの子供様の怪

教会参拝でき

ない状態に
具合が
める
会参拝
許し
お屏風観音様も
ご奉齋頂ける

子供様
ご奉齋の日を
スピードで良

いっているときは体が動かせないでたました。

その後現在の出葬所のおしを頂くことができまして、神様に感謝の気持ちで一杯です。しかし現在は私の誠が足りないため出葬所としての御の御許しが頂けないこととお詫びを申し立てるしかありません。自分ができることをさせていたかたはよくは悪い、頭があらつゝ浄化をいってからも日々の信徒の方の御浄業のお取次ぎは続けおりました。

多田光史先生、これから指導よろしくお願いいたします。京本先生、お世話の人の様いともありがたうございます。教会の皆様いつもありがたうございます。今回の発表にあたって配属下さいました多田光子先生ありがたうございまして。今後とも指導宜しくお願いいたします。雪界におられる小林業也様ありがたうございました。

(2009年5月8日)

Aさんの子供様の怪我続く

すると子供様の具合が
また悪くなり始める
次の教修日に教会参拝
ついに入信のお許し

お屏風観音様も
ご奉齋頂ける

Aさんのお母様
御守様を頂く教修の日
教会参拝できない状態に

日を境に驚く
で良くなられる

ご奉斎の日を境に驚く
スピードで良くなる

りないために出張なしとしての発
屋のお許しが頂けないことに
お詫言を申し上げるしかない
日々です。自分ができること
をさせていたたかなくてはと
思ひ、頭がふらつて浄化を頂
いても口々々の信徒の方へ
の御手紙の取次ぎまま読つて
来られたら、

教会の皆様いつもありが
うございます。今回の発表
あつてご配慮下さいまし
多田光生先生ありがとうございます
しました。今後ともご指導
らしくお願いいたします。

雪男におられる小林美也
美也がのびのびと、まこと

その結果お尋ぎするお許しも頂け、お世話にご布教に毎日
が充実していたと思います。
私自身も肩箱や頭箱など浄
化も趣きましたが、いつも乗
り越えさせていたが、信徒
の方の前では元気でいられま
した。やはり御用にお便り頂
いているときは休も動かせて
いたためました。

その後現任の出張所のお許
しを頂くことができまし
た。神様に感謝の気持ちで一杯で
す。

たいと思います。
明主様本当にありがとう
さいました。

会長先生、小林先生入信
来本当にお世話になりあり
とうございませう。☆迷惑は
りおかけし申し訳ございま
せん。これからもう指導よろ
しくお願いいたします。

多田光史先生、これから
指導よろしくお願ひいたし
ます。荒木先生、お世話の人
様いっしょありがとうございます。

方がお知り合いの方に伝えることで多くの方に御浄霊のお取次ぎをする機会が増えました。ご家族へ入信された方も増え、私宅の御神前も活気付いていきました。当時の事を思い出しますと御浄霊のお取次ぎのため走り回っていました。神様のお光をお伝えしなければという強い使命感を持っていました。そして神様は怪我や病気が良くなるという御守護を見せて下さり、すると難題で両耳が聞こえない信徒の方が聞こえるようになります。他にも左半身が麻痺を頂かれました。それで幸いという方が2、3の御浄霊で良くなりました。この奇蹟を神様は見せて下さりました。この奇蹟をまた新しい方に繋げていくことができれば、お世話をしていた実践を続け、神様を信じていくことが出来ます。よう努力

頂いた奇蹟を
新しい方に
繋げていく
神様を信じて御用に

講義ノート



大阪布教所
奥田 直枝

約40日もの
ご浄化は
人生で初めて

半月程過ぎた頃より
最悪の状態徐々に緩和
日を追う毎に良くなる

ても、医学でいへばさきのことのみです。一時的に長くても後から再発したり、別の病気が起ったりしています。これは、病気の根本原因が霊の曇りであるという最も大切な事を教えていたなきながらお伝え出来ないからです。十分反省する共にこれからの課題として、今後の生活の基にしていくなさきことと想わさせていただきます。

◆

そのような時、私もご多分に洩れず一月未より厳しいご浄化を頂きました。約40日ものご浄化を頂いたのは84才の人生の中で初めての事です。激しい咳と痰による出血、全身が硬直し心臓が締め付けられるように苦しく、嘔吐も加わり、大変な思いをししました。好物な品を少し頂くも、甘いはずの無い物が甘く、それとも何とも言えない味に喉を通らず、かろうじて自然療法のお茶のみが頂くことが出来ます。時にはあまりの苦しさにより、早く霊界に行かなくてはなけぬかと思つたこともありました。が、半月程過ぎた頃より、最悪の状態は徐々に緩和されました。しかし、以前のような苦しみは無いものの、体は気怠く腰と膝が思うように動かず、立つ時が特に大変でしたが、それも日を迫る毎に長くしていたなき、現在では元の状態より元気にしています。長い月日入信のおかげもなきます。許しを頂きながら、またご浄化の意味も把握させていただきました。ながらも、あまりにも、お礼も未だ想定でした。伏してお詫言ひ申し上げます。

◆

次にAさんの頂かれた御守護を報告させていただきます。今迄に何度も多くのご浄化を頂かれ、その度に素晴らしい御守護を頂かれてまいり

ました。ご家族は全員入信の
お許しを頂かれております
が、今回Aさんのご主人が世
間を騒がせている新型コロナ
ウィルスの症状によく似た状
態になられ、床につかれまし
た。

Aさんは家事や、会社の経
理に加えてご浄化のご主人の
看病、何より最も大切な御浄
霊のお取次き、と慌ただしく
日々を送られてきました。そんな
時ご主人が「保健所で一度検
査したい。結果を知るだけで
良いから」とおっしゃいまし
た。大変驚かれたAさんでし
たが、神様にお託ひされ検査
を受けられましたところ、臥
せておられたご主人は陰
性、コロナではありませんで
した。一方、Aさんは陽性判
定となりました。保健所より
は入院が必分の間ホテルに
とも勧められましたが、Aさ
んは陽性と言われても体調も
よく違和感等全くなく、すべ
たまま震の

先
病
が
難
生
活
題
が
し
た
ま
ま
ラ
イ
フ
争
等
つ
一
日
の
り
な
す
建
子
供
を
市
に
應
て
ま
さ
れ
さ
れ
る
例
を
族
が
い
る
す
ま
震

勉強な折に、現在には
 興、その他で抑えること
 思ひ、例へば糧とか
 食糧とか、命に關する固
 安増えといふと同じま
 へ、現在のロシアとウク
 蘭で行はれつつある戦
 争的、大浄化作用の一
 程度に、誠に悲愴極ま
 然に報道されていま
 案等の破壊される様子
 運まき込み、逃げ回
 目を覆いたくなる状
 。テレビでは放映され
 が、沢山のご遺体も残
 している事です。また
 存在しないけれども家
 族の生活を強いられて
 方方がなくさんおられま
 九日にも南海トラフ地
 震等、不安の種がなく

御浄霊に込
神様の御心
人達が幸せ
御教えお

ていたのではないかと思わ
ずにはおられません。
また私達は御浄霊を、直接
人々にお取次ぎさせていただ
けるお許しを頂いています。
そして御浄霊を通して多くの
人達をお救いさせていただく
ことが出来ます。神様の御力
をあまりに簡単に御取次ぎ
出来ず、故に御浄霊が単に人の
苦しみや病気を治していただ

められた
は全ての
になる事
伝えの努力を

世話人研修会の貴重なお時間を頂き感謝申し上げます。明主様の御出頭を賜りまして、神様の御心に触れさせていた下さる人様にとっての真理の御教をを通して安心した生活を送らせていただいています。唯、世界では新型コロナウイルスウィルスによる感染が拡大しています。ウィルス自体も次々に変異しており感染力が非常に強いBA・という変異株が現れている状況です。その変異株の割合も従来

のものの70%に達しているとの事、また海外ではさらに強力なX・E株も出ているようです。

このような状況下にあつて、医学は根本的な感染防止策として手洗いの励み、マスクの着用、会話は控え、隊に対する礼儀を要する。一方で、ワクチン開発にも努力されておられますが予防注射を3回もされたにもかかわらずすぐになられる方も後を絶ちません。一般に発病しまし

わけていただきます。

このような時、私もご多分に洩れず1月末より厳しいご多分に浄化を頂きました。約40日ものご浄化を頂いたのは84才の人生の中で初めての事です。

Aさんが

コロ

体調

次に入さるの頂かれた御守護を祈奉告させていただきます。今迄に何度も多くのご浄化を頂かれ、その度に素晴らしい御守護を頂かれてまいりました。

した。一方、Aさんは感謝の気持ちでいっぱいだった。保健師よりの実入院が当分の間ホテルにとも勧められましたが、Aさんは関性と言われたが体調も良くなり感謝を多く、すべて今まで抱りに元気、動かしていたなれました。感謝され、私にさせていたが御用は感謝の献金ですと、今回のみならず毎多額の献金はされておられますが、お喜ぶのお許しが厚たいと、相談も熱心とされるようになった。

例え生かされていられたとしても、家族が別々の生活を強いられてゐる方がたくさんおられます。

また日本にも南海トラフ地震の脅威等、不安の種がたくさんあります。このような状況を鑑みまして今までの怠慢を神様に深くお詫び申し上げます。

明主様の御教を二日も早く正しく一人でも多くの方にお伝え出来ていれば、今のような惨状は少なからず抑えられます。

そして御淨業廻して多くの人達を救ひ上げていた人達が出来た。神様の御力をあまらずにも簡単に取次ぎ出来た。故に御淨業が単に人の苦しみや病氣を治していただけでなくのように恵みがちになることがありますが、しかし神様の御心はもっと大きな意味があることを
明主様は御教へ下さっています。
御淨業に込められました神様の御心は全ての人達が幸せ

お救い出来る御寺様を頂いてます。全人樹の中でいつも早く御寺様を頂いている私達が一人でも多くまた一日でも早くこの素晴らしい御教えをお伝えさせていただけますよう、日々努力させて頂いたにすぎます。

会長先生、いつも細やかにご指導下さりありがとうございます。遅々たる歩みで申します。遅々な歩みが一層のご指導よろしくをお願い申し上げます。

(2006年9月)白田

入信のお許し賜わり50年

御守様拝受後

胃に穴が空いた
胃潰瘍の夫に
御浄霊お取次ぎ

半月後の検査
穴が塞がっている

私が人信のお話しを賜りましたのは、教会独立の年でございまして、早50年の年月が経ってしまいました。幼い時離せないような姿に育ったため、結婚した主人が中学から一度も葉を服んだことが無

いふて、医者に会つた。ところが無いと電話して来た時は「この人今迄うきで來たはな」と思つた程で、主人はあまゝ信仰の話はしませて、あなたが、身体が弱く書曰く藥を食っている私に、「元氣になつてももらいたいか」と言つて、御淨靈のお取次ぎをしてくれました。教會の祭典にも連れて行つてくれました。その度に同行の方々が頂かれた御守護のお話を聞かせて、また一人一人各自身次第に元氣にしていただいたりすよぶうちに、参りました頃、主人が勤務先の換

診で胃潰瘍と診断されました。半日後再度検査をして手術と言われましたが、主人は、父が受けたつもりには無く、父母から御守靈を頂いておりまして、猶が主人を見てゐるのと、余りにも辛そうなので御守靈を拝受させていたたいてはお取次ぎをさせていたたきた気持ちになりました。

御守靈拜受後毎日お取次ぎさせていたたきました処、半日後の検査は再び空いていた次が墓がっていると聞き驚きました。当時の私は申し訳ないのですが、神様に感謝の気持ちと言つても、不思議で胃潰瘍と診断されまし

議をもちの方が強かったの
で、自分が納得出来る迄、色
々な人で試してみようと思い
ました。その結果、お取次き
させていたいた皆さんが
次々と奇蹟を預かれて大信の
お許しを預かれるのを見て初
めて本当に素晴らしい神様だ
と思わせていただきました。

◆

昭和48年（1973年）に
は、遊児と妊娠中毒症で普通
分娩では産めないと言われ
いた処、多田現会長先生に付
き添っていたなま御淨雪を預
きながら、無事安産で娘を出
産させていたことが出来

ました。この娘の出産迄の年間、流産死産を繰り返して参りましたので、本当に有難く主人と共に神様に感謝申し上げました。そしてこの感謝の気持ちをもつてあなたにお報いさせていたならば良いかいつもう一人話し合つておりました。

まもなく若い主婦の会現女性の会へ委員のお呼を、次いで祭典時の子供献勤責任者としての役割も賜りました。お世話の方も次第に増えてゆき、お喜ませていたな

以下8面に続く

